

南海電鉄 堺東駅



所在地：大阪府堺市堺区三国ヶ丘御幸通61番地
規模：2面4線
施主：南海電気鉄道(株)
施工：南海辰村建設(株)
工期：2015年3月

S326

南大阪の中核的都市である堺市の東玄関口、南海電鉄堺東駅が照明設備をリニューアル。
プラットフォームおよびコンコースの照明をLED化し、
駅全体の明るさ感を高めながら、大幅な省エネを実現しています。

100年以上前から堺市民の暮らしを支えてきた高野線の最古の駅のひとつ

大阪の南、泉北地域に古くから栄えてきた堺市は、2013年(平成25年)時点で人口約84万人を有する大阪府第2の政令指定都市。大阪市のベッドタウンとしての側面も持ち、通勤通学の主要な足として南海電鉄が利用されています。

南海高野線の前身である高野鉄道の起点駅として1898年(明治31年)に開業した堺東駅は、戦後その周辺地域が堺市の官庁街および商業地域として発展し、駅利用者数も1日平均約6万人を数える南海電鉄を代表する駅のひとつ。特急から各停まですべての列車の停車駅として賑わいを見せています。

ベースライトを中心に空間に光を行き渡らせるLED照明器具を採用

島式2面4線のプラットフォームは、特急・快急・急行などと各停との緩急接続が行われることから、多くの時間帯で利用者の行き来が盛んです。今回の照明リニューアルでは、上下4線すべての乗り場の照明器具を既設の蛍光灯器具からLEDベースライトに更新。主要器具としてラックレールを利用した一体形LEDベースライト直付形の防雨タイプ軒下用の特注器具(消費電力34W、相関色温度5000K)を202台採用しました。

足下だけでなく広い範囲に光がまわり込むLEDベースライトの採用により、半開放的な駅プラットフォーム全体の明るさ感がぐんと高まり大幅にイメージアップ。また、安全確認に欠かせない十分な明るさをホーム端まで確保し、車両に乗り降りする際の足下の視認性もアップ。一段低い軌道内にまで光が届き、夜間でも心理的な不安を感じさせない光空間が創出されています。しかも光の直進性が高いLED特性により光漏れも抑えられ、列車の運転士にとって安全確認の妨げとなる不快な眩しさが軽減されています。365日深夜を除き終日点灯し続ける駅施設の照明では、LEDリニューアルによる省エネ効果も絶大で、堺東駅でも電気代の大幅な削減が可能となりました。また、既設の蛍光灯器具では必須となっていたランプ交換作業もほぼ不要となり、メンテナンスの面でも大きなメリットが生まれています。



プラットフォーム照明に採用した一体形LEDベースライト直付防雨軒下用(特注器具)



乗降時の足下を明るくしているのはもちろん、プラットフォーム全体の明るさも確保



高天井部分に配置したLED高天井器具



一体形LEDベースライト直付防雨軒下用



レール越しに見るホーム上にライン配置した一体形LEDベースライト直付防雨軒下用



LED高天井器具



ホーム内にある待合室のLED照明

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
ホーム天井	一体形LEDベースライト直付防雨軒下用	特注器具	202	LED消費電力：34W
	LED高天井器具広角タイプ	LEDJ-10012N-DJ2	8	LED消費電力：101W
	LEDベースライトAQシリーズ埋込形	LEDR-45521NK-LD9	12	LED消費電力：38.9W
通路・コンコース天井	LEDベースライト直管ランプシステム片反射笠	LET-41207NK-LD9	38	LED消費電力：22.5W
	LED高天井器具広角タイプ	LEDJ-10012N-DJ2	14	LED消費電力：101W